



平成30年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年6月14日

上場会社名 株式会社エニグモ
 コード番号 3665
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートオペレーション本部長

上場取引所 東
 URL <http://www.enigmo.co.jp/>
 (氏名) 須田 将啓
 (氏名) 金田 洋一
 TEL (03) 6894-3665

四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第1四半期の連結業績(平成29年2月1日～平成29年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第1四半期	1,066	11.1	407	△4.8	404	△5.4	252	△2.7
29年1月期第1四半期	959	68.1	428	58.6	427	61.5	259	84.9

(注) 包括利益 30年1月期第1四半期 247百万円(7.9%) 29年1月期第1四半期 229百万円(69.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第1四半期	12.13	—
29年1月期第1四半期	12.46	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第1四半期	4,891	3,439	70.3
29年1月期第1四半期	3,452	2,277	66.0

(参考) 自己資本 30年1月期第1四半期 3,439百万円 29年1月期 2,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年1月期	—	—	—	—	—
30年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,977	20.0	1,966	11.2	1,966	11.5	1,342	17.4	64.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) —、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年1月期1Q	21,321,000株	29年1月期	21,321,000株
30年1月期1Q	500,000株	29年1月期	500,000株
30年1月期1Q	21,321,000株	29年1月期1Q	21,321,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界が変わる流れをつくる。」というミッションの下、インターネットを通じて、一般消費者が持つ個々の才能をネットワークし、今まで存在しなかった新しい価値を創造し、世界をよりよく変えることを目的として、ソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」および女性向けメディア「4mee!（フォーミー）」並びに「4yuuu!（フォーユー）」を中心とした事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間（平成29年2月1日～平成29年4月30日）における我が国経済は、金融緩和の継続等により企業収益や雇用は比較的安定していたものの、海外の政治情勢の不安定さに起因する急激な為替変動や、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化など、外部環境の不透明さから先行きの見通しが非常に難しい状況が続いております。

国内の個人消費は、所得の伸び悩みによる生活防衛意識の高まりから引き続き選別消費が続いているなか、ファッションEC市場におきましては、小売店やブランド等の事業者側によるオムニチャネル化やファッション系スマートフォンアプリの増加等を背景に、堅調に拡大を続けております。

このような環境のなか、当社グループは、引き続きWEBマーケティングを中心とした「BUYMA（バイマ）」における「会員獲得施策」、「アクティブ率向上施策」および「ARPU維持施策」等を推進するとともに、SNSの活用等によるアプリ訴求施策及び、各種周辺サービス・機能等の運用強化を加速し、一層手軽にBUYMAでショッピングをお楽しみいただけるよう積極的にサービスの拡充を進めてきております。

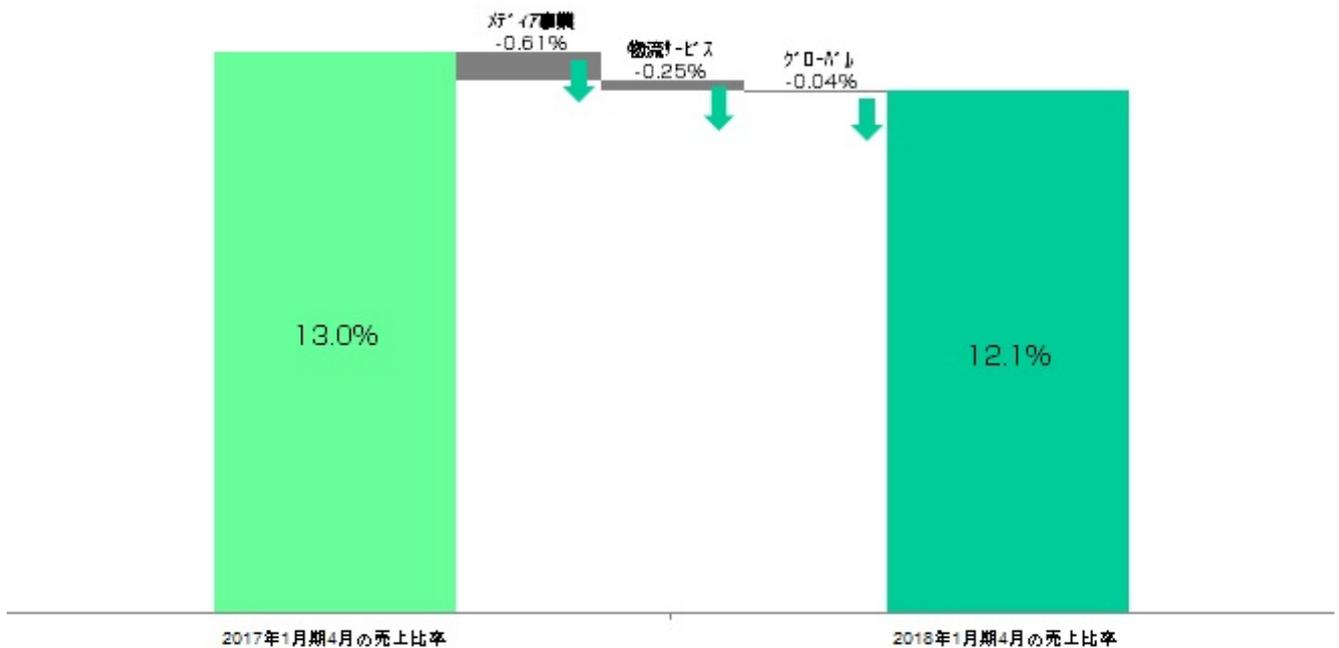
一方で、メディア事業におきましては、昨年末に発生した他社キュレーションメディアサービスにおける問題に起因する関連市場での広告出稿数の一時的な減少の影響で、メディア関連売上が前年同期を下回る水準で推移しました。

また、前第1四半期末を基準として連結子会社となったエニグモ 코리아社におきましては、サービスは拡大基調で推移しておりますが、当第1四半期末時点では20,226千円の営業損失となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,066,048千円（前年同四半期比11.1%増）と拡大した一方で、営業利益は407,459千円（前年同四半期比4.8%減）、経常利益は404,632千円（前年同四半期比5.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益252,517千円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

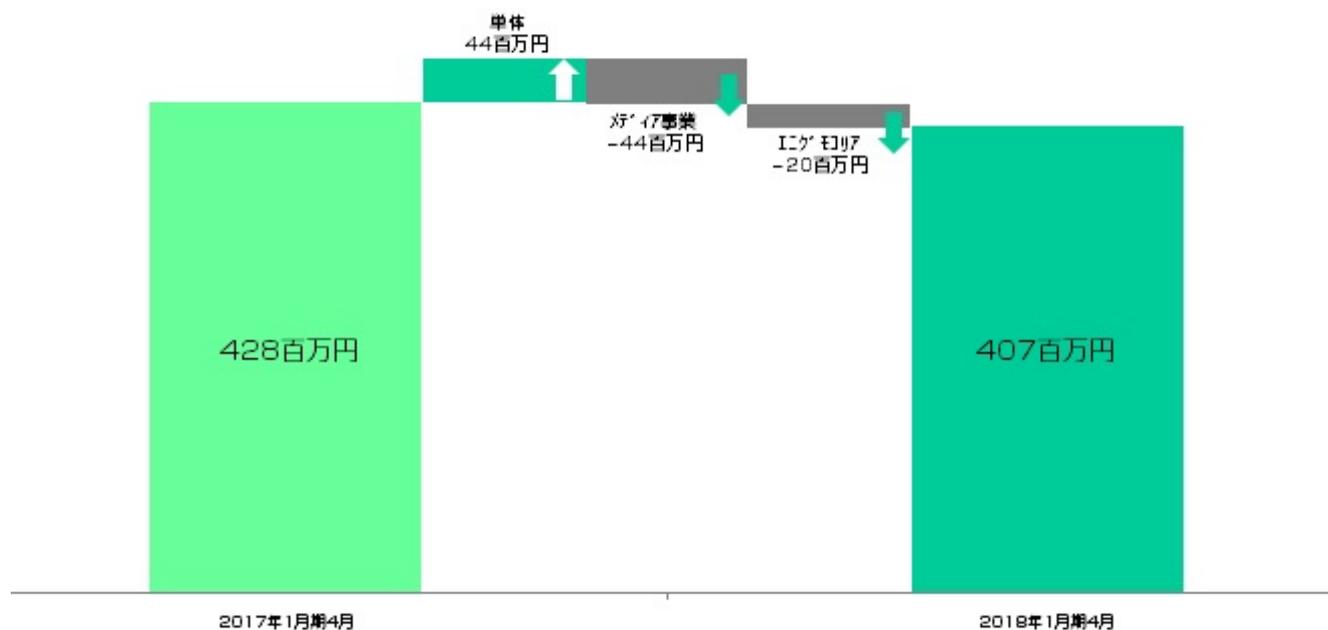
総取扱高売上比率の増減内訳

メディア事業のマイナス成長の影響で対総取扱高連結売上比率は減少



営業利益の増減内訳

メディア事業のマイナス成長および
エニグモ코리아社連結の影響により営業利益は前年同期比95.2%と微減



セグメント別の業績は次のとおりであります。

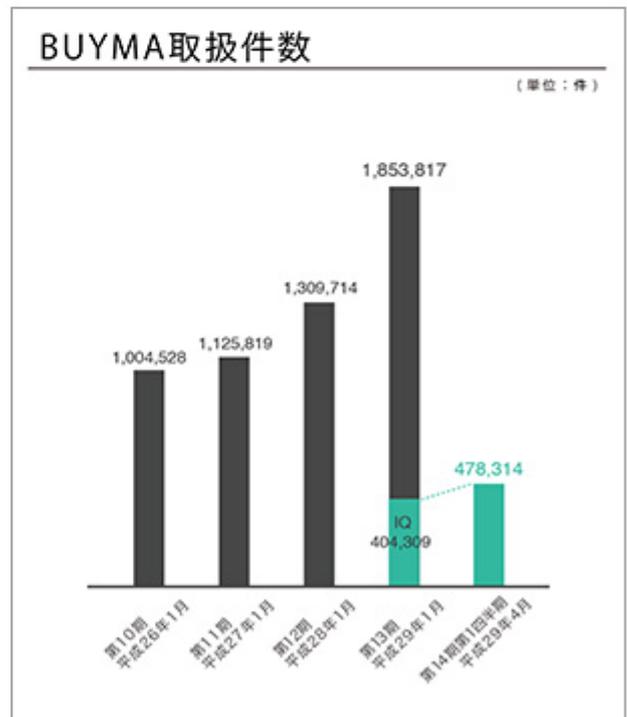
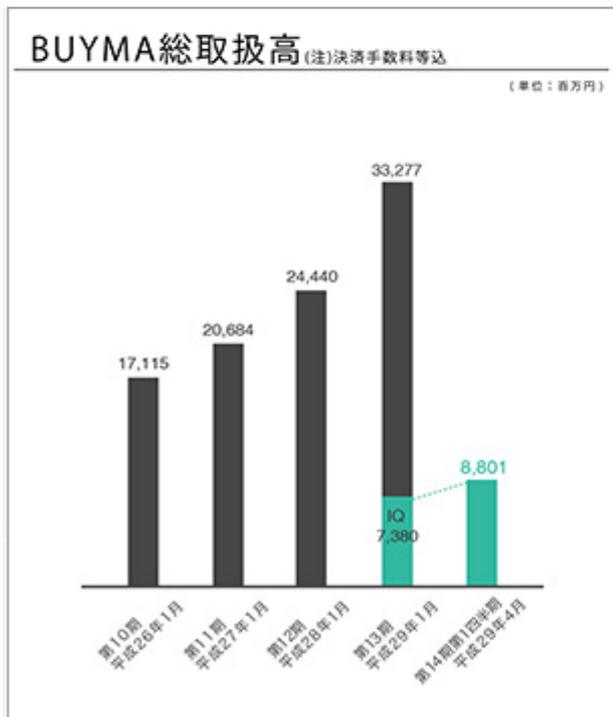
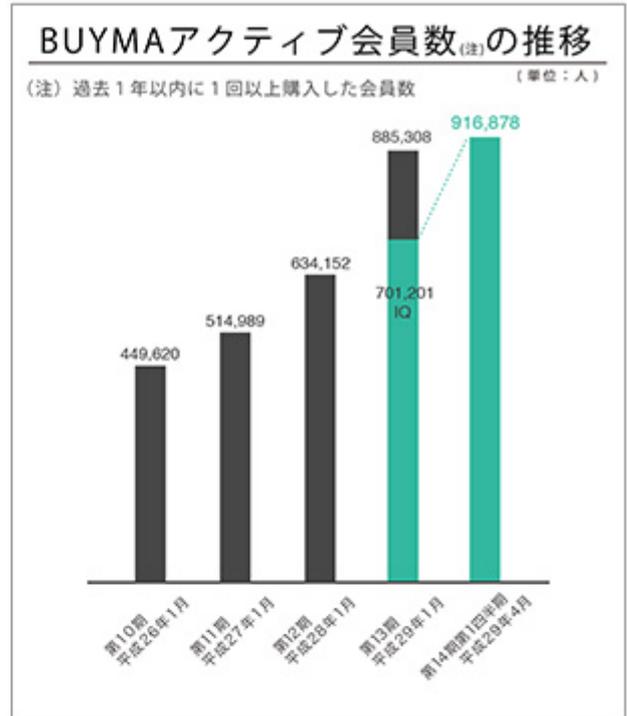
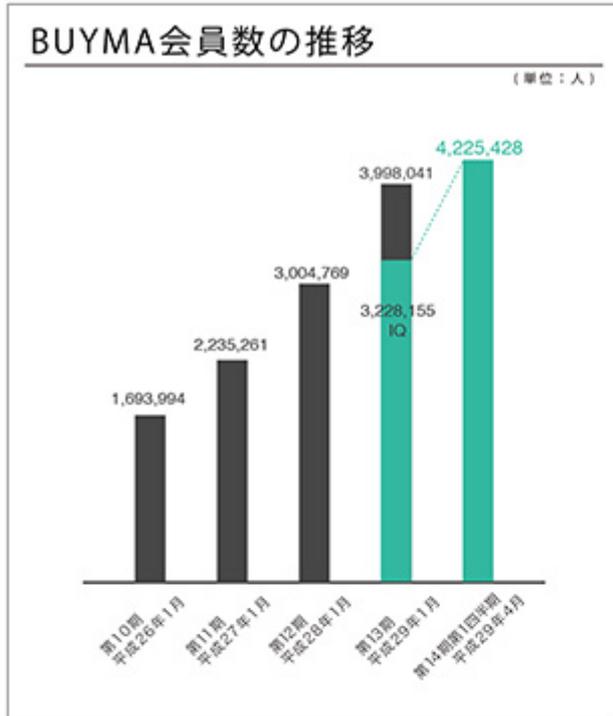
①ソーシャルコマース事業

ソーシャルコマース事業におきましては、個人がパーソナルショッパー（出品者）となって世界中の話題のアイテムを紹介・出品、販売ができるソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」を中心とした運営をおこなっております。当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き新規ユーザーおよび既存会員のアクティブ化およびコンバージョン向上のため、多数のセールへの取り組みに加え、オウンドメディアによる購買意欲の喚起、SNSを活用したアプリ訴求に加え、サービス・機能の拡充を図る各種施策を展開しました。

また、パーソナルショッパーとの密な連携による出品数の拡充、社内インフラの強化をおこなっております。

以上の結果、会員数は4,225,428人（前年同四半期比30.9%増）、商品総取扱高は8,801,666千円（前年同四半期比19.3%増）、売上高は1,004,497千円（前年同四半期比16.4%増）と順調に拡大しましたが、前第1四半期末を基準として連結子会社となったエニグモ코리아社が運営する「BUYMA KOREA（バイマ코리아）」においてサービスは拡大基調で推移しているものの、当第1四半期末時点では20,226千円の営業損失となりました影響により、セグメント利益は425,614千円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

【主要な経営指標の推移】



②メディア事業

メディア事業におきましては、女性向けメディア「4meee!」および主婦・ママ向けメディア「4yuuu!」において、昨年末に発生した他社キュレーションメディアサービスにおける問題に起因する、関連市場での広告出稿数の一時的な減少の影響で、広告収入が前年同期を下回る水準で推移しました。

以上の結果、売上高は61,897千円（前年同四半期比36.1%減）、セグメント損失は18,304千円（前年同四半期は26,480千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産合計

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より189,165千円減少し、4,891,194千円となりました。主な内訳は、現金及び預金3,437,545千円であります。

②負債合計

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より433,586千円減少し、1,451,852千円となりました。主な内訳は、預り金1,023,522千円であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より244,420千円増加し、3,439,341千円となりました。主な内訳は、資本金381,903千円、資本剰余金391,474千円、利益剰余金3,079,945千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年3月15日の「平成29年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,823,547	3,437,545
売掛金	154,089	156,861
前渡金	350,375	583,869
繰延税金資産	55,861	19,760
その他	66,299	82,656
貸倒引当金	△756	△1,512
流動資産合計	4,449,417	4,279,181
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,065	7,972
工具、器具及び備品(純額)	17,249	17,132
有形固定資産合計	25,314	25,104
無形固定資産		
のれん	452,487	443,950
その他	27,671	26,338
無形固定資産合計	480,159	470,288
投資その他の資産		
関係会社株式	17,820	12,627
繰延税金資産	13,934	10,271
その他	93,713	93,720
投資その他の資産合計	125,468	116,619
固定資産合計	630,942	612,012
資産合計	5,080,360	4,891,194
負債の部		
流動負債		
未払金	145,975	195,106
未払法人税等	622,632	117,218
未払消費税等	121,015	39,833
預り金	940,135	1,023,522
ポイント引当金	36,025	36,731
その他	19,654	39,439
流動負債合計	1,885,439	1,451,852
負債合計	1,885,439	1,451,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,903	381,903
資本剰余金	391,474	391,474
利益剰余金	2,830,286	3,079,945
自己株式	△415,380	△415,380
株主資本合計	3,188,283	3,437,943
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	5,356	1,797
為替換算調整勘定	978	△700
その他の包括利益累計額合計	6,335	1,096
新株予約権	301	301
純資産合計	3,194,920	3,439,341
負債純資産合計	5,080,360	4,891,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)
売上高	959,699	1,066,048
売上原価	150,674	178,460
売上総利益	809,024	887,587
販売費及び一般管理費	380,887	480,128
営業利益	428,137	407,459
営業外収益		
受取利息	124	128
為替差益	—	2,124
還付加算金	793	—
その他	4	135
営業外収益合計	922	2,388
営業外費用		
為替差損	287	—
持分法による投資損失	—	5,193
その他	843	22
営業外費用合計	1,130	5,215
経常利益	427,928	404,632
特別利益		
新株予約権戻入益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
減損損失	—	112
貸倒引当金繰入額	32,404	—
特別損失合計	32,404	112
税金等調整前四半期純利益	395,532	404,519
法人税、住民税及び事業税	77,816	110,456
法人税等調整額	58,296	41,546
法人税等合計	136,112	152,002
四半期純利益	259,419	252,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	259,419	252,517

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)
四半期純利益	259,419	252,517
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△30,233	△3,559
為替換算調整勘定	—	△1,679
その他の包括利益合計	△30,233	△5,238
四半期包括利益	229,186	247,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,186	247,278
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至 平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル コマース事業	メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	862,830	96,868	959,699	—	959,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	192	—	192	△192	—
計	863,022	96,868	959,891	△192	959,699
セグメント利益	401,661	26,480	428,142	△5	428,137

(注) 1. セグメント利益の調整額△5千円は、セグメント間取引消去△5千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至 平成29年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル コマース事業	メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,004,151	61,897	1,066,048	—	1,066,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	345	0	345	△345	—
計	1,004,497	61,897	1,066,394	△345	1,066,048
セグメント利益又は損失(△)	425,614	△18,304	407,309	150	407,459

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額150千円は、セグメント間取引消去150千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。